

News Release

2015年10月27日
一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

重電機器受注生産品の受注実績 2015年度「第Ⅱ四半期(7-9月)」及び「上期」

JEMA では、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。ここに、重電機器受注生産品の2015年度「第Ⅱ四半期(7-9月)」及び「上期」の受注実績を公表致します。

2015年度 第Ⅱ四半期(7-9月)の概要

【概況】

第Ⅱ四半期の受注額は4,904億円(前年度同期比100.2%)と前年並みとなった。外需が前年同期を上回り、製造業が4四半期連続で前年同期比超えと堅調であるものの、非製造業のうち、電力業が4四半期連続で前年同期比割れとなり、全体を押し下げた。
* 以下、前年度同期比は「同」と略記)

【需要者別動向】

■内需

内需は3,235億円(同93.6%)と、非製造業と官公需の減少が全体を押し下げ、3四半期ぶりの前年同期比割れとなった。

- 製造業は817億円(同118.9%)となった。主要需要先でみると、鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、自動車の前年同期比2桁増と堅調である。
- 非製造業は1,751億円(同87.7%)となった。運輸業・郵便業・通信業は増加したものの、大口需要先である電力業は受注環境が厳しいこともあり、前年同期比割れとなった。
- 官公需は大口需要先である地方公務などの減少により573億円(同84.5%)となった。

■外需

外需は1,669億円(同116.1%)と交流電動機、電力変換装置などの増加により、前年同期比超えとなった。

【製品別動向】

- ・交流電動機は527億円(同78.3%)となった。外需が増加したものの、内需は前年同期の製造業の水準が高かったため、前年同月比割れとなった。
- ・電力変換装置は611億円(同131.4%)となった。太陽光発電向けのパワコンは国内向けの受注にやや陰りがみられるものの、外需の増加が寄与し、前年同期比超えとなった。

2015年度 上期の概要

- 2015年度上期の受注額は8,471億円(同95.1%)と、4半期ぶりの前年同期比割れとなった。
- ・内需は5,836億円(同97.2%)と、非製造業のうち、大口需要先である電力業は2半期連続の前年同期比割れとなり、また、官公需とともに全体を押し下げた。一方、製造業は2桁増と堅調を維持しており、6半期連続の前年同期比超えとなった。
 - ・外需は2,635億円(同90.7%)と、4半期ぶりに前年同期比割れとなった。

■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等であり、
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等であり、

■公表の内容

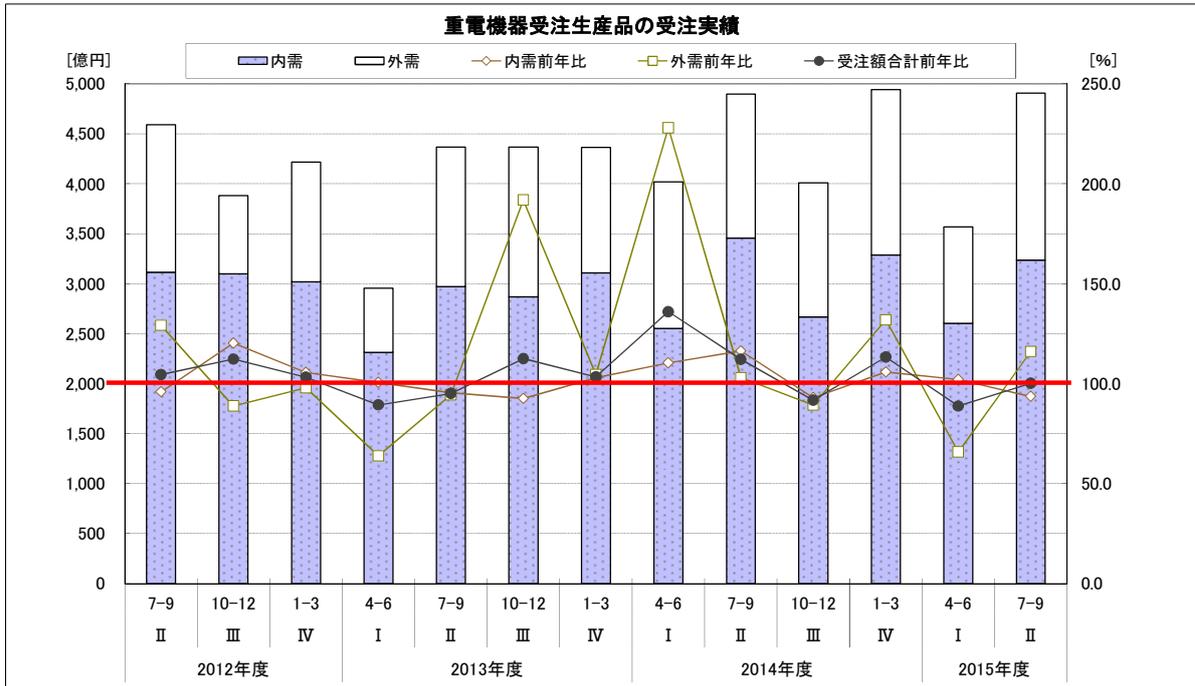
重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用できます。

■公表の形態

- ・JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

■ 四半期実績の推移

【受注実績: 内需+外需】



【内需内訳】

